

6月26日(日) ショートメッセージ

聖書 マタイによる福音書 15章21節～28節 (新約 30頁)
メッセージ 「あなたの信仰は立派だ」

そこで、イエスはお答えになった。「婦人よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願いどおりになるように。」 そのとき、娘の病気はいやされた。

(マルコによる福音書 15章28節)

(1) 15章は39節まで続きますが、本日までで15章を終わります。残りの箇所はそれぞれでお読み下さい。

本日の箇所ではカナン人の女性が登場します。イエス様が登場するよりも数千年前の事ですが、ユダヤ人たちは、長い間荒野を放浪した後、カナン地方に侵入し、定住しようとしていました。しかし、そこにはカナン人たちがいました。ユダヤ人たちはカナン人を攻撃し、そこから追い出していました。殺された人たちも多数いましたが、生き残ったカナン人もいました。このカナン人の末裔が、本日登場する女性です。当時、ユダヤ人はカナン人に対して、軽蔑と恐れという複雑な感情を持っていました。

(2) さて、イエス様と弟子たちはティルスとシドン地方へと行かれると、その地方で生まれたカナン人の女性がイエス様たちのところに来ました。イエス様を「主よ、ダビデの子よ」と呼び、わたしを憐れんで下さい、わたしの娘がひどい悪霊に取り憑かれていますと叫びました。しかし、イエス様は何も言いませんでした。弟子たちはイエス様に、この女を追い払って下さい、叫びながらついて来ますと頼みました。そこでイエス様は、わたしは、イスラエルの家の失われた羊のところには遣わされていないと言って、女性の願いを断りました。ところが女性はイエス様の前に来てひれ伏し、再度助けて下さいと頼みました。それ

を見たイエス様は、子どもたちのパンを奪って、小犬どもにも与えてはいけなと、女性にとってはつらい言葉を投げかけました。しかし、女性はさらに食い下がります。「主よ、ごもつともです。しかし、小犬も主人の食卓から落ちるパン屑はいただくのです。」(27節)。この言葉にイエス様の心は動かされました。「婦人よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願いどおりになるように。」(28節)。この時、別の場所にいた女性の娘はいやされました。

(3) この女性への最初のイエス様の振る舞い、投げかけた言葉はとても受け入れられるものではありません。当時のユダヤ人たちが抱いたカナン人への軽蔑と恐れから、イエス様ご自身も恐れられなかったのです。しかし、イエス様はそこで終わっていません。イエス様はこの女性と出会い、変えられました。小犬どもと言ってしまった女性を、今度は「あなたの信仰は立派だ」と評価しました。このイエス様の姿は、人を差別してしまうことから恐れられない私たちに、主に従う者としての有り様を示しているのではないのでしょうか。問題は変えられるかどうかです。今なおこの世界は差別を克服するために悩み続けています。この女性との出会いによって変えられたイエス様の姿をひとりひとりが倣うことによって、この世界が差別を克服する第一歩になることと信じています。(多田玲一牧師)